

空手道で一番苦しかったこと

2008年12月23日

西東京本部 浜田山支部 小林 羊子

私には娘が二人います。下の娘が空手を始めたいと言い出したので見学にいきました。体験もさせていただき、楽しかった様で、二人とも「どうしても習いたい」といい、私もダイエットになるからと軽い気持ちで始めたのがきっかけです。

今まで犬の散歩以外運動らしい運動をしていなかった私にとって練習後の筋肉痛や新しい型を覚えることなどとても大変でしたが、それ以上に苦しく大変だったのは組み手です。

親子三人とも女ですから組み手の練習には、戦うことへの恐怖心など抵抗がありなかなか参加することができませんでした。しかし、初段を受けるために組み手の練習を始めて思ったことは、親子で、むずかしいこと、つらいことに挑戦することは、親が手本を見せることで、子供も頑張ろう、一緒にやってみようと思うものです。練習は青あざができ、ハードですが目標を持って親子で出来ることはとても有意義なことだと思いました。

本部長や指導して下さった方々に感謝しております。これからも、親子三人で楽しく空手を続けていきたいと思えます。